

YMS 2019年度 解答速報

日本医科大学 後期

YMS HPIにも
掲載中!



<https://yms.ne.jp/>

【英語（解答）】

[I] 問 1. (え)(お)(あ)(う)(い)

These are **experiences that need yield nothing more** to be fully justified. (need=助動詞)

問 2. A: devoted B: measured C: attempting D: grasp E: drain

問 3. ア: く イ: お ウ: こ エ: し オ: う

問 4. 解答例1) 内面から動機づけられることの具体的な長所を証明しなければ、学校や家庭、職場、実際のところ社会全体でそれを広めるのに根拠が薄弱であろう。

解答例2) 主体的に関心を持つことに实际的価値があると証明しないなら、それを学校、家庭、仕事場、さらに言えば社会全体で促進を後押しする根拠がぐらつくだろう。

問 5. 解答例1) ある課題の後に試験をすると伝えられたグループと、試験について知らされていなかったグループとでは後者の方が課題の試験結果が優れていたこと。

解答例2) ある課題を学んだ後、試験をすると告げられた集団の方が、他の集団(=コントロールグループ)よりも学習効果が低かったという結果。

問 6. 解答例1) 試験のために丸暗記をもって取り組んだグループは一週間後に自分が取り組んだ事柄の内容を多く忘れていたこと。

解答例2) テストをするという教育手法は、テストそのものが学習動機なのでテストが終われば学んだことを忘れ易いという落とし穴があるということ。

[II] <解答例>

In my opinion, conventional style in school, in which teachers test what school children, or whoever he or she may be, have learned and evaluate their academic performance according to the outcome of the test, should be replaced with something that requires them to teach what they grasped to someone else, or even among those who learned together. By so doing, they would feel free of the obligation of being tested. In some sense, testing people makes them study harder. However, as has been documented in the article we have read in [I], that doesn't necessarily foster our understanding of what we study in an efficient way, and that method may weaken our ability or motivation to keep even the rote memory in mind.

[III] 問 1. a. 問 2. c. 問 3. a. b. c. 問 4. b. d. 問 5. d.
問 6. c. 問 7. c. 問 8. a. d. 問 9. a. c. 問 10. a. b. d.

[IV] 問 1. b.c.d. 問 2. b. 問 3. c. 問 4. d. 問 5. a.
問 6. b.c. 問 7. d. 問 8. a.b.d. 問 9. a.c. 問 10. c.
問 9 の d. は、are willing に関しては未表記のため不正解と判断した。

【英語（講評）】

昨年とは順番が違うが、[III]が単語や発音アクセントの問題でほぼ昨年と同様。[IV]は全てマークセンスの長文読解設問で日本医大の英語問題では毎年出る文中に動詞を変化させた語を補充させる問題と内容真偽の問題。[II]は、[I]の内容と連動した自由英作文。[I]には日本医大の英語問題では毎年出る文中に動詞を変化させた語を補充させる問題と和訳、説明、内容真偽の問題。知識系の問題はやや細かく、自由英作は時間内に十分な内容を書くのは難しいだろう。[I] 問 1 の整序英作文問題は難問のため、捨てる勇気も必要。